

■コメント

1. 流行性耳下腺炎

定点当り1.92人とやや減少しましたが、多い状態が続いています。安芸区9.5人と特に多くなっています。

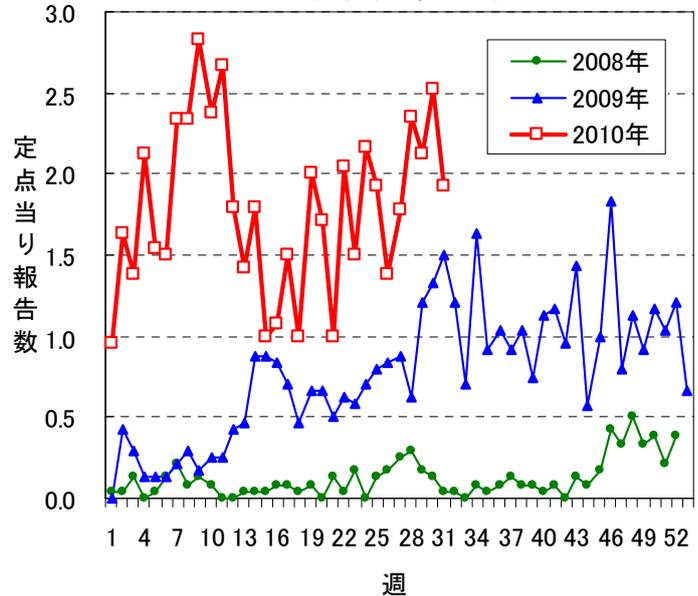
最近の広島市では、2006年の後半から3年近く流行はほとんどみられていませんでしたが、2009年は徐々に増加し、今年も多い状態が続いており、流行の周期から推測すると、さらに増加する可能性があります。注意が必要です。

2. ヘルパンギーナ

定点当り1.92人となっており、第28週をピークに減少傾向で推移しています。西区5.3人、中区3.7人となっています。

夏季を中心に流行するウイルス性の感染症で、主にA群コクサッキーウイルスを病原体とし、発熱と口の中に水疱ができることが特徴です。

流行性耳下腺炎



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均去5年(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.08		ヘルパンギーナ	46	1.92	2.27	→
咽頭結膜熱	18	0.75	0.35	→	流行性耳下腺炎	46	1.92	1.07	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	0.84		RSウイルス感染症	-	-	0.07	
感染性胃腸炎	59	2.46	3.41	↘	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.08	
水痘	19	0.79	0.74	↘	流行性角結膜炎	7	0.88	0.65	
手足口病	28	1.17	1.73	↘	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	7	0.29	0.31		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.37	
突発性発しん	19	0.79	0.70		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.54	
百日咳	1	0.04	0.08		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	6	146	男性(10歳未満)・1人、女性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・2人、男性(80歳代)・2人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
			広島市	第27週	-	23	16	86	29	85	9	19	-	76	41	-	1	5	-	1	-
広島市	第28週	-	21	8	80	21	75	4	9	1	76	54	1	-	7	-	1	-	-	-	
広島市	第29週	-	12	9	73	13	50	4	15	1	52	49	-	-	1	-	3	4	-	-	
広島市	第30週	-	16	4	81	22	35	5	14	2	42	58	1	-	8	1	-	-	-	-	
広島市	第31週	-	18	13	59	19	28	7	19	1	46	46	-	1	7	-	1	2	-	-	
定点当り	広島市	第27週	-	1.00	0.70	3.74	1.26	3.70	0.39	0.83	-	3.30	1.78	-	0.13	0.63	-	0.14	-	-	-
定点当り	広島市	第28週	-	0.91	0.35	3.48	0.91	3.26	0.17	0.39	0.04	3.30	2.35	0.04	-	0.88	-	0.14	-	-	-
定点当り	広島市	第29週	-	0.52	0.39	3.17	0.57	2.17	0.17	0.65	0.04	2.26	2.13	-	0.13	-	0.43	0.57	-	-	
定点当り	広島市	第30週	-	0.70	0.17	3.52	0.96	1.52	0.22	0.61	0.09	1.83	2.52	0.04	-	1.00	0.14	-	-	-	
定点当り	広島市	第31週	-	0.75	0.54	2.46	0.79	1.17	0.29	0.79	0.04	1.92	1.92	-	0.13	0.88	-	0.14	0.29	-	
全国	第29週	0.03	0.29	0.75	2.75	1.03	3.53	0.42	0.60	0.05	5.04	1.30	0.06	-	0.68	0.01	0.08	0.38	0.02	-	
全国	第30週	0.02	0.29	0.69	2.98	1.00	2.92	0.32	0.64	0.04	3.89	1.45	0.06	0.02	0.78	0.03	0.05	0.37	0.04	-	

■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
水痘	2	男	2010/07/01	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス
その他の呼吸器疾患(かぜ,感冒,咽・喉頭・扁桃炎等)	1	男	2010/06/17	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患(肺炎/間質性肺炎)	0	女	2010/06/27	鼻汁(拭い液)	RSウイルス
その他の呼吸器疾患(肺炎/間質性肺炎)	0	男	2010/06/27	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス3型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	11	男	2010/05/26	鼻汁(拭い液)	エコーウイルス25型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2010/06/01	咽頭拭い液	エコーウイルス25型

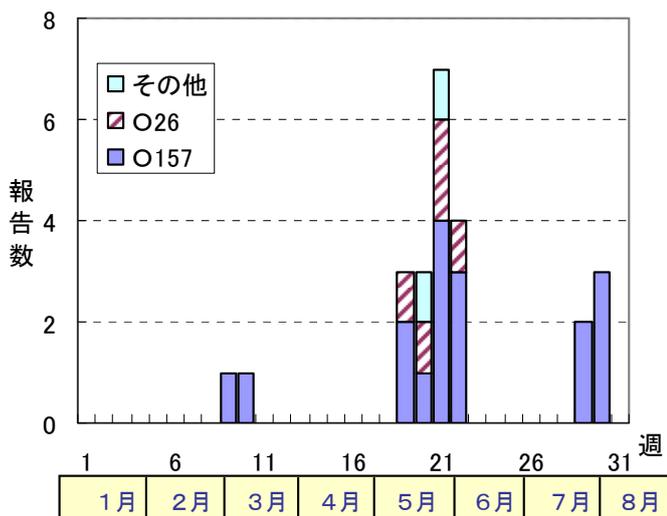
* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■広島市における腸管出血性大腸菌感染症報告数

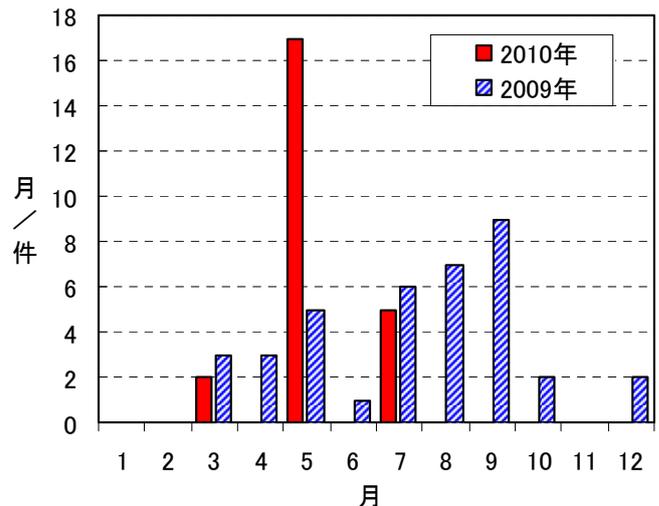
7月に5件(2事例)の報告があり、今年の累計は24件(13事例)となりました(8月8日現在)。そのうち10件(42%)は無症状病原体保有者です。症状がなくても人に感染させるおそれがあります。

例年、気温が高い5月から10月ごろにかけて多発する傾向にあるので、今後とも注意が必要です。

型別報告数(2010年8月8日現在)



月別報告数(2010年は8月8日現在)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp